

EU Indicators

発表日: 2021年3月31日(水)

欧州経済指標コメント: 3月ユーロ圏消費者物価

～原油高と一過性の要因が押し上げ～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

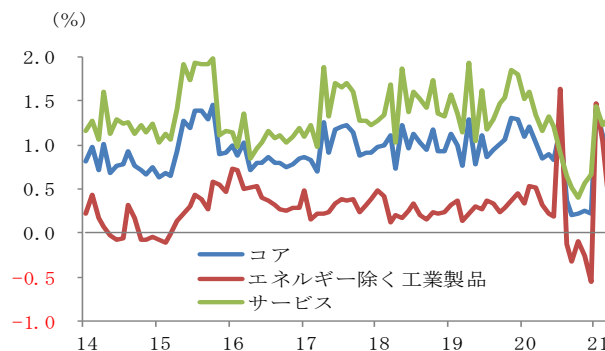
- 3月のユーロ圏の消費者物価の速報値は前年比+1.3%と過去2カ月の同+0.9%から上昇率が加速した。速報段階で入手可能な内訳は、ドイツの付加価値税率引き上げ終了などの影響で年明け以降に上振れが続いてきたコア物価（前月：同+1.1%→今月：同+0.9%）の上昇ペースが一服したほか、昨年春のコロナ危機開始時に品不足懸念で高騰した食料品価格の裏が出たこともあり、食料・アルコール・たばこ価格（同+1.3%→同+1.1%）の上昇ペースが鈍化。その一方で、景気回復期待とスエズ運河事故の供給不安による原油高やユーロ安進行を背景に、エネルギー価格（同▲1.7%→同+4.3%）が14ヵ月振りにプラス圏に転換し、ヘッドライン計数を押し上げた。
- コア物価の詳細な内訳は4月16日発表の確報値を待たなければならないが、速報時点で確認可能な計数によれば、サービス価格（同+1.2%→同+1.3%）の上昇率が僅かに加速した一方で、エネルギーを除く工業製品価格（同+1.0%→同+0.3%）の上昇率に急ブレーキが掛かり、コア指数の鈍化につながった。前日に発表されたドイツの国および州別の消費者物価によれば、衣料品・履物価格とパッケージ旅行価格が下振れした模様。これらはセール時期やサンプルによって月毎の振れが大きい計数であるが、同国での都市封鎖再開で下押しされた可能性がある。前日に妥結したドイツ金属労組の賃金交渉の結果は向こう数年の低調な賃上げを示唆し、一過性の押し上げとエネルギー高を除けば、ヘッドライン計数が示唆するほど物価の基調は強くない。

■ユーロ圏: 消費者物価（前年比）



注: コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く
出所: Eurostat

■ユーロ圏: コア消費者物価（前年比）



注: コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く
出所: Eurostat

■ユーロ圏の消費者物価 (%)

	2020				2021											
	2Q	3Q	4Q	1Q	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
消費者物価 (前期比)	-0.4	0.0	0.0	-	-0.1	0.2	0.2	-0.4	-0.0	0.1	0.1	0.1	1.1	0.1	-	
消費者物価 (前年比)	0.2	-0.0	-0.3	1.1	0.1	0.3	0.4	-0.2	-0.3	-0.3	-0.3	-0.3	0.9	0.9	1.3	
コア消費者物価 (前年比)	0.9	0.6	0.2	1.2	0.9	0.8	1.2	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	1.4	1.1	0.9	
食料/アルコール/たばこ (前年比)	3.4	1.8	1.7	1.3	3.4	3.2	2.0	1.7	1.8	2.0	1.9	1.3	1.5	1.3	1.1	
食料 (前年比)	3.3	0.0	0.0	-	3.4	3.0	1.6	1.2	1.4	1.7	1.5	0.9	1.0	0.8	-	
アルコール (前年比)	0.8	0.0	0.0	-	0.9	0.8	-0.0	0.1	0.0	-0.2	-0.0	-0.3	0.3	0.5	-	
たばこ (前年比)	5.6	0.0	0.0	-	5.5	6.2	6.3	6.2	6.0	6.0	5.4	5.4	5.4	5.6	-	
エネルギー (前年比)	-10.3	-8.1	-7.8	-0.6	-11.9	-9.3	-8.4	-7.8	-8.2	-8.2	-8.3	-6.9	-4.2	-1.7	4.3	

注: 消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所: Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

